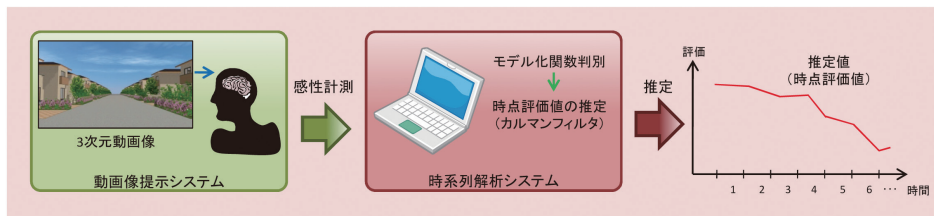


研究概要

映像の感性評価に対する時系列解析

近年、都市景観に対する関心は高まりを見せており、住民参加型の街並み提案が行われるようになってきた。現実在即した街並みの評価を行うためには、映像で作成した景観を用いることが不可欠であるが、映像に対する感性評価の有効な解析手法が存在しないために、このような評価実験は殆どなされていないのが現状である。

本研究では、カルマンフィルタを用いて、映像(都市景観)を最初から最後まで提示したときの評価値(累積的評価値)から任意時点の評価値を推定する。これにより、各時点刺激(景観)と評価値との相関分析を可能にする。特に評価者の個人特性から適切な予測関数を選出し、時点刺激の間の相乗効果や相殺効果を考慮できるようにする。



3次元動画画像で作成した刺激(e.g. 都市景観)に対する(累積的)評価値を被験者から聞き出し、カルマンフィルタを用いた時系列解析手法によって任意時点の評価値を推定する。

今後の展開やメッセージ

実際の都市景観評価の問題に適用し、住民の意向を反映した計画案の提案に結び付けたいと思っています。これまでの景観設計ではトップダウン的な決定に頼るしかありませんでしたが、本手法を用いて住民の評価構造を詳細に分析することにより、多くの人に満足感を与える計画案を提案できると考えています。

研究者情報



松下 裕 教授・博士(工学)

情報フロンティア学部 メディア情報学科

所属研究所：感動デザイン工学研究所

東北大学工学部建築学科卒。同大学大学院工学研究科博士

課程前期建築学専攻修了。清水建設(株)大崎研究室研究員、

同社技術研究所主任研究員を経て、2005年本学助教就任。2017年現職。

研究者情報URL

http://kitnet10.kanazawa-it.ac.jp/researcherdb/gyouseikindex/GIAFABI_0001.html

Keyword

映像コンテンツ/Webサイト/数理解心理学